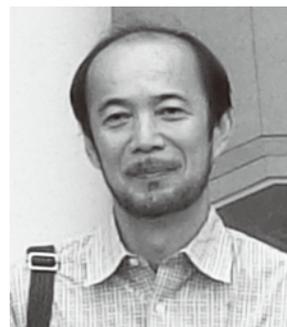


## RISTで楽しく!

RIST幹事・企画委員長  
熊本高等専門学校 教授

村上 純



平成30年度から企画委員長を務めさせていただいております村上と申します。皆様方には日頃からRISTの活動にご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

RISTとのご縁を振り返ると、本校前身の熊本電波高専に赴任された上野文男校長が熱心に教員へ参加を呼びかけられたのが最初でした。私は産学官の取り組みを行う組織としてしか知らず、あまり関心は持っていませんでした。

数年前、企画委員である本校教員からの交代者募集のメールを見て、時間的に余裕があったことから、私でよければと返信したのが関わりを持ったきっかけです。年に数回の会議に出るだけと聞いており、用事のない限りは出席して、末席で大人しくしていました。

会長・宇佐川先生、企画委員長・中西先生のと時のある会議を覚えています。RIST改革の議論が交わされ、意見が二つに割れて、司会の宇佐川先生が一人一人に発言を求められました。私は聞けば聞くほどどちらの言い分も尤もらしく思えて、普段は優柔不断ではないのですがどちらの意見も正しいように聞こえて判断がつかせんと答えました。まあそんな感じで、委員になったものの積極的には活動しませんでした。

RISTが楽しく(?)なったのは、交流会(懇親会?)に出るようになってからです。私も飲み会(カラオケも)は好きな方で、委員の方々と仲良くなると、二次会、三次会…まで行くようになりました。

「RISTは飲み会がメイン」と某先生からお聞きし、ナルホドと思ったものです。そのメインが好きなのが評価されたのだと思いますが、永田前委員長のご退任に伴い、その後任にどうかと末吉会長からお声がかかったのです。(交流会以外は)熱心に務めていないのですから、私で大丈夫だろうかと迷ったものの、迷ったときは挑戦的で・新しくて・前向きで・キツイかもしれない方を選ぶのがいいに決まっていますので、会長の「私がサポートするから大丈夫」のお言葉を信じてお引き受けしました。

新年度になってみると、創立30周年の記念の年だというではありませんか。永田先生に尋ねたり、委員の方々に助けられながら、(会長のサポートは当然のこと)、月例フォーラムを開催するので精一杯のところ、記念シンポジウム、記念誌の計画も進めることになったのです。しかし、何とかなるものですね。会長のリーダーシップと事務局の細やかなバックアップの下、皆様のご協力により、どうにか務めを果たせたのではないかと考えています。自身のことでも、学校以外の交流・交遊の少ない私の視野が広がり、(飲み会以外でも)RISTは楽しいと思うようになりました。産学官交流や社会貢献の意識が高まり、それに関与できることが“楽しい”なのでしょうね。私も定年が近付いていますが、それまで(それから)この意識を持って活動したいと思っています。平成31年度は企画委員長二年目に入ります。これからもRISTで皆様と楽しく活動したい、させていただきたいと願っております。